

JSAF 外洋常任委員会 議事概要

2014年12月9日
文責：坂谷 定生

日 時：平成26年12月6日（水） 15:30～14:30

場 所：岸記念体育館 1階101会議室

出 席：中澤理事、平松理事、平井理事、馬場理事、大村委員長、鈴木一行委員、寺澤寿一、坂谷常務理事、児玉萬平（オブザーバー）
合計9名（以上、敬称略）

議事概要：

坂谷常務理事が議長となり議題に従い協議に入った。

(1) 中日韓親善セーリングレガッタの動向について

中澤理事より別添資料のとおり開催を前提としての現状報告があり、今後も柴沼さんからの回答も参考にしながらさらに調査、調整を進める旨説明があった。

坂谷常務理事から外洋常任委員に対し、レガッタに関する現状や動向を頭に入れておいてほしいとの発言があった。

(2) WG 報告

イ. 安全・危機管理 WG

常務理事から、12月6日の理事会において「ヨットレース主催における危機管理」について説明した資料について提示があった。

ロ. ジャパンカップ・オープンレース WG

馬場 GR から今後の JC の開催方針について本年8月以降 WG で調査、検討してきたものが提言書（ジャパンカップの開催について）として当委員会に提出され、その説明があった。

説明聴取後外洋常任委員会として提言書の採択について協議したところ、異議なく全員賛成したのでこれを今後の方針とすることについて決議した。

(3) 専門委員会報告

イ. 外洋総務委員会

鈴木委員長欠席のため、常務理事より以下のとおり説明があった。

- ・外洋加盟団体の正会員会費について統一するための第一歩として、各団体に統一会費10,000円の提案をし、その反応を見るべく文書を発送する旨の説明があった。

また、各団体に検討してもらい、1月31日開催の長崎における加盟団体長会議で意見を聴くこととする。

- ・艇登録情報開示についての調査に対し、回答は約380艇からあったが、その内開示不可の回答が60艇あった。回答のあった艇については12月中に開示の予定。
- ・艇登録証書の発行について、各加盟団体で発行できるよう新会員システムに機能追加をしており、費用は外洋予算から8万円を支出。
証明書の会長印はこれまでどおり、電子印章とするが、今後総務委員会においてこのことに関連する規則を整備することになっている。

ロ. 計測委員会（吉田委員長）

理事会で報告したため省略。

ハ. ルール委員会（大村委員長）

SRの中で「たわみ」の問題がある、一方でRRSではライフラインについて、何か規定がある場合を除き、ピンと張らなければならなくなった。これについては次のルールブックの改定時に掲載される予定。

ニ. 国際委員会（鈴木一行委員）

I S A F 総会が 1 1 月にあり、J S A F からは 1 0 人が出席した。

D P I (失格に代わるパーセンテージペナルティー) が世界で普及し国内でもディンギー系中心に採用が進んでいる、クルーザーにおけるルールの原則と実施例がようやく集まってきた。出来れば来年の J C 2 0 1 5 から使いたいが、各委員会と調整する必要がある。今後 1 月、2 月の小委員会や合同会議で調整をしていきたいとの提案が出されたのに対し、関係専門委員長も同意した。

(4) 外洋総務委員会の職務について

坂谷常務理事から現状の外洋総務委員会と外洋常任委員会の審議内容や構成メンバーが重複している部分があり、整理するため議題とした旨の説明があり、協議した。外洋艇推進グループの新組織に掲げたように、外洋総務委員会の担当理事は副会長及び常務理事とし、職務は外洋加盟団体長会議、外洋常任委員会の事務局的なもの及びこれまでの艇登録、法制、あるいはどの専門委員会にも属さない次項に関するものとし、政策的な協議、調整等は外洋常任委員会とする旨の提案があり諮ったところ、現在外洋総務委員会のメンバーとなっている平井氏、平松氏、中澤氏三理事からは異論なく了承されたので、外洋総務委員会の取り扱いについては提案通り決定した。

今後のことに関し平井理事から新外洋総務委員会には新たに実働メンバーを加え充実させるようにとの意見が出されたので、今後の委員会の進捗状況の中で調整していくこととした。

(5) その他

坂谷常務理事から西宮—横浜 Y R ① (J S A F 後援)、神戸—横浜 Y R ② に関わる現状報告があり、難しい問題が発生していることを認識してほしい旨説明があった。

② のレースについては安全面等で開催に憂慮するところはあるものの、主催が J S A F の加盟団体でも特別加盟団体でもないことから、対策については有効なものはないが、外洋として何かすべきか意見を聞いたところ、参加するであろう会員には何らかの情報を流してやることは、J S A F として必要ではないかとの意見が多かった。

次回の外洋常任委員会は 1 月 2 3 日 (金) 1 8 : 3 0 より、トーヨーアサノ 6 F 会議室で開催することを確認し、散会した。